



# 校長室だより

「勉強をやる意味」について考えてみよう！



岸野小名物の「枝垂れ桜」は散りましたが、校舎南には例年以上に美しくチューリップが咲きそろいました。5月に入り学校では本格的に授業に取り組んでいますが、小学校高学年頃になると自分のしている毎日の勉強について疑問を持ち始めると思い、5月の講話では以下のような話をしました。



「なぜ勉強するの？」～勉強は立派な〇〇をつくること～

5月の大型連休も終わり、学校ではよいよ本格的に勉強がはじまりましたね。「毎日宿題多くて大変だなあ。」とか「勉強ってなんでやらなくてはいけないのかな?」とか考えたことはないでしょうか? 私も小学校高学年の頃、「なんで勉強してるの?」とぼんやり考えていた時期がありました。そんな時、当時の校長先生が校長講話でその答えになるお話をしてくれました。今から40年以上も前の話ですが、このお話は今でも心に残っているので、今日はその話をしたいと思います。

まずこの写真を見てください。(「欄干」のない橋の写真①)なんの写真でしょう? そう、橋の写真ですね。次にこちらの写真を見てください。(「欄干」のある橋の写真②)なんの写真ですか? これも橋の写真ですね。2つの写真を比べて何か違うところに気付いた人いますか? そうですね。②の橋には手すりのようなものがありますね。これをなんとするか知っている人? そうです。「欄干」と言います。漢字ではこのようなちょっと難しい字を書きます。(「欄干」の文字を提示)橋を渡るとき、どちらの橋のほうが安心して渡れそうですか? そうですね、2番目に見せた「欄干」のある橋ですね。欄干があると、もし落ちそうになっても、欄干が人や車を支えてくれます。欄干は普段歩くときや車で走っている時には特に必要ないかもしれませんが、いざというときに自分が下に落ちないように支えてくれるとても大事なものです。欄干がないと安心して橋を渡れませんよね。「勉強」はこの橋の「欄干」の部分になるんですよとその当時の校長先生が教えてくれました。人生という長い橋を人は渡っていきます。そのとき欄干がある橋なのか、欄干がない橋なのかによって、渡っているときの気持ちは大きく違います。最後にこの写真を見てください。(立派な「欄干」がかかっている橋の写真③)立派な「欄干」がかかっていますね。この橋だったら安心して渡れそうです。皆さんは毎日勉強をしています、それは自分の人生という橋に「欄干」をつくっているのです。これは小学校だけでなく皆さんのお父さんやお母さん、先生方も今もつくり続けています。充実した人生を過ごすために、立派な「欄干」をつくり続けていくこと、実はこれが「なぜ勉強をするのか?」の答えのひとつになると思います。

皆さんは今小学校でいろんな勉強をしています、みなさんのお父さんやお母さんも会社や家で色々な勉強をし続けています。みんなで自分の人生という橋に立派な「欄干」ができるよう勉強をがんばりましょう。これで今日の話を終わりにします。



校舎周りの田んぼも田植えが始まり、学校でも子ども達は充実した日々を過ごしています。毎日の学習・運動・清掃・お手伝い等あたり前の事を地道に積み重ねていく中で、子どもは少しずつ成長しています。「全ては岸野小の子ども達の笑顔のために」を合い言葉に職員一同これからも頑張ります。5月は14日(日)に「資源回収、PTA作業」、6月は3日(土)に「家族参観日」が予定されていますが、今後ご支援・ご協力よろしくお願い致します。(文責:大西孝一)

佐久市立岸野小学校

\*ご意見、ご要望、お問い合わせ

などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0384

Fax 0267-62-0542